

令和元年度病床機能報告の定量基準分析結果について

定量基準分析（埼玉方式）のあゆみ

平成29年度

- 7月 委託業者の公募・業者決定（みずほ情報総研）
- 8月～10月 データ分析方針の検討
- 11月・2月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析方針説明・中間報告・意見聴取

平成30年度

- 4月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析結果報告・意見聴取
- 5月 厚労省主催「地域医療構想に関するワーキンググループ」で事例発表
- 6月 厚労省主催「都道府県医療政策研修」で事例発表
- 8月 「地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について」通知 ※厚労省が各都道府県に埼玉方式の分析ツールを提供

令和元年度

- 2～3月 平成30年度診療報酬改定を踏まえた分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和2年度

- 2～3月 分析業務の委託（みずほ情報総研）

埼玉県病床機能報告定量基準分析の枠組み

- 「ICU→高度急性期」「回復期リハ病棟→回復期」「療養病棟→慢性期」など、**どの医療機能と見なすのかが明らかな入院料の病棟**は、当該医療機能として扱う。
- 特定の医療機能と結びついていない**一般病棟・有床診療所の一般病床・地域包括ケア病棟（周産期・小児以外）**を対象に、具体的な機能の内容に応じて客観的に設定した**区分線1・区分線2**によって、高度急性期/急性期/回復期を区分する。
- 特殊性の強い周産期・小児・緩和ケアは切り分けて考える。

4 機能	大区分							
	主に成人			周産期	小児	緩和ケア		
高度急性期	救命救急 ICU SCU HCU	一般病棟	有床診療所の一般病床	地域包括ケア病棟	MFICU NICU GCU	PICU	小児入院医療管理料1	
急性期					産科の一般病棟 産科の有床診療所	小児入院医療管理料2,3 小児科の急性期一般入院料1 小児科の一般病棟7:1	緩和ケア病棟 (放射線治療あり)	
回復期	回復期 リハビリ病棟			小児入院医療管理料4,5 小児科の急性期一般1・ 一般病棟7:1以外 小児科の有床診療所				
慢性期	療養病棟 特殊疾患病棟 障害者施設等				緩和ケア病棟 (放射線治療なし)			

具体的な機能に応じて区分線を引く

機能区分基準の考え方

- ① 病床機能報告のうち、主に「具体的な医療の内容に関する項目」のデータの中から、外科的治療・内科的治療・全身管理等の幅広い診療内容を加味して基準を構成。
- ② 区分線 1 のしきい値は、救命救急入院料やICUの大半が、高度急性期に区分される程度とする。
- ③ 区分線 2 のしきい値は、急性期一般入院料 1 の大半が、高度急性期・急性期に区分される程度とする。
- ④ 区分線 1・2 を設定した結果、高度急性期・急性期・回復期の 1 日あたり入院患者数が、「埼玉県地域医療構想における現在（2013年）の需要推計」との間に大きな齟齬がないか確認する。

ただし、実際には各病棟にはさまざまな病期の患者が混在する中で、病棟単位での集計結果に応じて区分するため、ある病棟が、わずかな機能の差によって、「急性期の病棟」に区分されたり「回復期の病棟」に区分されたりし、それに応じて「急性期の病棟の病床数」も大きく変わる。
区分線には「絶対の閾値」があるわけではなく、ある程度の幅をもたせて考えることが必要。

高度急性期・急性期の区分（区分線1）の指標

○救命救急やICU等で特に多く提供されている医療

- A：【手術】全身麻酔下手術
- B：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- C：【がん】悪性腫瘍手術
- D：【脳卒中】超急性期脳卒中加算
- E：【脳卒中】脳血管内手術
- F：【心血管疾患】経皮的冠動脈形成術（※）
- G：【救急】救急搬送診療料
- H：【救急】救急医療に係る諸項目（☆）
- I：【救急】重症患者への対応に係る諸項目（☆）
- J：【全身管理】全身管理への対応に係る諸項目（☆）

※...診療報酬上の入院料ではなくデータから特定がしにくいCCUへの置き換えができなかったこと、
経皮的冠動脈形成術の算定が一般病棟7:1よりもICU等に集中していることによる。

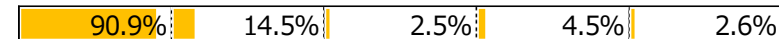
☆...機能報告のデータ項目のうち、救命救急やICU等で算定が集中しているものに限定。

→ これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

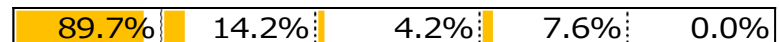
区分線1で高度急性期に分類される病棟の割合（令和元年度報告）

区分線1で高度急性期に分類する要件			しきい値		該当する病棟の割合				
			稼働病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	救命・ICU・SCU・HCU	急性期一般病棟1,一般病棟7:1(※)	左記以外の病院一般病棟(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	A	全身麻酔下手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	43.2%	2.1%	1.1%	2.3%	0.0%
	B	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	20.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%
がん	C	悪性腫瘍手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	25.3%	2.4%	0.0%	0.8%	0.0%
脳卒中	D	超急性期脳卒中加算	あり	あり	22.1%	0.3%	0.0%	0.0%	算定不可
	E	脳血管内手術	あり	あり	27.4%	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%
心血管疾患	F	経皮的冠動脈形成術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	22.1%	1.3%	0.5%	0.8%	0.0%
救急	G	救急搬送診療料	あり	あり	13.7%	1.3%	0.5%	0.8%	算定不可
	H	救急医療に係る諸項目（下記の合計） ・救命のための気管内挿管 ・体表面・食道ペーシング法 ・非開胸的心マッサージ ・カウンターショック ・心膜穿刺 ・食道圧迫止血チューブ挿入法	0.2回/月・床以上	8回/月以上	55.8%	2.4%	0.5%	0.8%	0.0%
	I	重症患者への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的肺動脈圧測定 ・持続緩徐式血液濾過 ・大動脈バルーンポンピング法 ・経皮的心肺補助法 ・人工心臓 ・頭蓋内圧持続測定(3時間超) ・人工心肺 ・血漿交換療法 ・吸着式血液浄化法 ・血球成分除去療法	0.2回/月・床以上	8回/月以上	47.4%	2.4%	0.5%	0.0%	0.0%
全身管理	J	全身管理への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的動脈圧測定(1時間超) ・ドレーン法 ・胸腔穿刺 ・人工呼吸(5時間超)	8.0回/月・床以上	320回/月以上	61.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
上記A～Jのうち1つ以上を満たす					90.5%	14.7%	3.2%	5.3%	0.0%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。



(参考) 平成30年度該当病床割合



(参考) 平成29年度該当病床割合

急性期・回復期の区分（区分線2）の指標

○急性期一般入院料1（従前の一般病棟7:1）にて多く提供されている医療

- K：【手術】手術
- L：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- M：【がん】放射線治療
- N：【がん】化学療法
- O：【救急】救急搬送による予定外の入院

○一般病棟や地域包括ケア病棟で共通して用いられている指標

■ P：【重症度、医療・看護必要度】

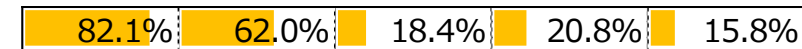
基準（「A得点2点以上かつB得点3点以上」「B14又はB15に該当する患者であって、A得点が1点以上かつB得点が3点以上」「A得点3点以上」「C得点1点以上」）を満たす患者割合

→これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

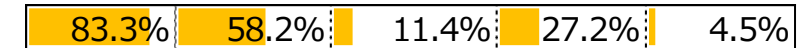
区分線2で急性期に分類される病棟の割合（令和元年度報告）

区分線2で急性期に分類する要件		しきい値		該当する病棟の割合				
		稼働病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	急性期一般病棟1,一般病棟7:1(※)	急性期一般病棟2-7,一般病棟10:1(※)	その他一般病棟(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	K 手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	8.4%	3.2%	4.8%	18.8%	0.0%
	L 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.1回/月・床以上	4回/月以上	21.1%	12.8%	0.0%	2.3%	0.0%
がん	M 放射線治療（レプト枚数）	0.1枚/月・床以上	4枚/月以上	8.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	N 化学療法（日数）	1.0日/月・床以上	40日/月以上	15.5%	3.2%	0.0%	1.5%	0.0%
救急	O 予定外の救急医療入院の人数	10人/年・床以上	33.3人/月以上	20.3%	11.2%	4.8%	0.0%	1.7%
重症度等	P 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	I:30%以上 II:25%以上		67.1%	45.6%	14.3%	0.0%	11.9%
上記K～Pのうち1つ以上を満たす				82.6%	60.0%	22.2%	21.1%	13.6%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。



(参考) 平成30年度該当病床割合



(参考) 平成29年度該当病床割合

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

4機能区分別の病床稼働率について、「(国の基準による)地域医療構想における想定%」と「今回の区分結果の%」との比較表示をしている。

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	95病床	661人/日	914床	71.8%	3.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	67病床	2,203人/日	2,616床	84.2%	10.2日	
		急性期	371病床	12,740人/日	15,716床	80.9%	12.2日	
	回復期リハビリ病床	回復期	266病床	7,122人/日	10,009床	72.3%	17.2日	
		回復期	79病床	3,305人/日	3,692床	88.9%	67.6日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	66病床	2,664人/日	3,073床	86.8%	107.1日	
	医療療養病床	慢性期	183病床	7,656人/日	8,684床	89.2%	211.4日	
介護療養病床	慢性期	9病床	410人/日	471床	86.4%	242.7日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	27病床	278人/日	423床	67.8%	14.8日	
	産科の一般病床	急性期	85病床	1,446人/日	2,116床	75.7%	6.4日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病床等	高度急性期	14病床	332人/日	415床	80.1%	6.9日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病床	276人/日	508床	57.2%	5.7日	
		回復期	3病床	30人/日	72床	42.2%	6.6日	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	3病床	50人/日	61床	82.1%	22.5日	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		慢性期	12病床	184人/日	257床	69.2%	23.8日	
その他	不明	不明/休棟	33病床	236人/日	592床	40.5%	18.5日	
	休棟・休床中	不明/休棟	45病床	48人/日	993床	5.0%	19.1日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,474人/日	75.0%	79.9%
急性期	14,511人/日	78.0%	79.8%
回復期	10,457人/日	90.0%	76.8%
慢性期	10,914人/日	92.0%	88.2%
不明	284人/日	—	17.6%
合計	39,640人/日	—	79.0%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床	88.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	82.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	67.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等	71.4%
うち産科・小児科を除く有床診療所	56.7%
うち小児科の一般病床・有床診療所	42.2%

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	203病床	3,474人/日	4,368床	6,238床	5,528床	79.9%	7.6日
急性期 計	475病床	14,511人/日	18,401床	24,763床	17,954床	79.8%	11.0日
回復期 計	348病床	10,457人/日	13,773床	5,739床	16,717床	76.8%	22.6日
慢性期 計	270病床	10,914人/日	12,485床	12,874床	14,011床	88.2%	159.3日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	78病床	284人/日	1,585床	998床☆	—	17.6%	18.6日
全体	1,374病床	39,640人/日	50,612床	50,612床	54,210床	79.0%	16.9日

4機能区分	入院料に関する報告がない病床等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	293床
回復期	162床
慢性期	132床
休棟中・無回答	998床
合計	1,585床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」救命救急・ICU等以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。

4機能区分別の病床数について、「今回の区分結果」「病床機能報告」「地域医療構想の必要病床数」の3つを比較表示。

回復期については、入院料や診療科の種類によって、より細分化する形で、病床稼働率を表示。

(参考) 平成30年度病床機能報告 定量基準分析結果 【埼玉県全体】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	87病棟	590人/日	880床	67.4%	3.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	66病棟	2,026人/日	2,585床	77.4%	9.9日	
		急性期	368病棟	12,061人/日	15,540床	79.1%	12.1日	
		回復期	283病棟	6,694人/日	10,237床	68.1%	18.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	78病棟	2,980人/日	3,628床	89.9%	64.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	66病棟	2,568人/日	3,022床	83.0%	93.8日	
周産期	医療療養病床	慢性期	187病棟	7,561人/日	8,817床	87.4%	221.3日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	介護療養病床	慢性期	16病棟	653人/日	802床	78.8%	265.8日	
	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	26病棟	265人/日	417床	62.6%	14.2日	
小児	産科の一般病床	急性期	94病棟	1,593人/日	2,267床	75.6%	6.7日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		回復期	11病棟	273人/日	336床	81.2%	7.6日	
緩和ケア	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	急性期	17病棟	306人/日	531床	60.9%	5.7日	
		回復期	3病棟	17人/日	59床	40.7%	7.7日	
		慢性期	3病棟	62人/日	79床	78.7%	21.7日	
	慢性期	12病棟	123人/日	236床	56.2%	21.4日		

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	190病棟	3,154人/日	4,218床	6,014床	5,528床	74.3%	7.6日
急性期 計	482病棟	14,021人/日	18,417床	25,138床	17,954床	78.1%	10.8日
回復期 計	364病棟	9,691人/日	13,924床	5,336床	16,717床	73.2%	23.1日
慢性期 計	281病棟	10,905人/日	12,877床	12,998床	14,011床	85.4%	159.2日
入院料に関する報告がなく分類できない病棟の病床(※)	53病棟	150人/日	1,130床	1,080床※		13.5%	11.8日
合計等	1,370病棟	37,921人/日	50,566床	50,566床	54,210床	76.7%	16.8日

※休棟中もしくは現在の機能に関する報告のない病床数。

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満、「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,154人/日	75.0%	74.3%
急性期	14,021人/日	78.0%	78.1%
回復期	9,691人/日	90.0%	73.2%
慢性期	10,905人/日	92.0%	85.4%
不明	150人/日	—	13.5%
合計	37,921人/日	—	76.7%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	89.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7・1	74.0%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	68.5%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	75.2%
うち産科・小児科を除く有床診療所	42.4%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	40.7%

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	5床
急性期	287床
回復期	73床
慢性期	62床
休棟中・無回答	703床
	1,130床

(参考) 平成29年度病床機能報告 定量基準分析結果 【埼玉県全体】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり 入院患者数	基準該当 病床数	病床稼働率	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	87病棟	548人/日	835床	65.7%	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・ 地域包括ケア病床等	高度急性期	67病棟	1,858人/日	2,508床	74.1%	
		急性期	343病棟	11,780人/日	14,764床	79.8%	
		回復期	262病棟	6,604人/日	9,746床	67.8%	
	回復期リハビリ病棟	回復期	74病棟	3,103人/日	3,448床	90.0%	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	59病棟	2,457人/日	2,839床	86.5%	
	医療療養病床	慢性期	172病棟	6,921人/日	8,067床	85.8%	
介護療養病床	慢性期	9病棟	370人/日	464床	79.8%		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	20病棟	207人/日	342床	60.6%	
	産科の一般病床	急性期	93病棟	1,488人/日	2,260床	65.8%	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	11病棟	183人/日	336床	54.5%	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病棟	308人/日	533床	57.9%	
		回復期	2病棟	26人/日	47床	54.4%	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	5病棟	76人/日	114床	67.0%	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	7病棟	82人/日	131床	62.7%	

4機能区分	該当病棟数	1日当たり 入院患者数	基準該当 病床数	病床稼働率	各医療機関が 報告した病床数 (H29病床機能報告)	2025年の 必要病床数 (地域医療構想)
高度急性期 計	185病棟	2,797人/日	4,021床	69.6%	6,365床	5,528床
急性期 計	457病棟	13,652人/日	17,671床	77.3%	24,702床	17,954床
回復期 計	338病棟	9,733人/日	13,241床	73.5%	4,830床	16,717床
慢性期 計	247病棟	9,830人/日	11,501床	85.5%	13,013床	14,011床
入院料に関する報告がなく分類できない病棟の病床	35病棟	102人/日	512床	20.0%	—	—
休棟・病床機能報告に無回答の病床	—	—	—	—	1,772床	—
合計等	1,262病棟	36,114人/日	46,946床	76.9%	50,682床	54,210床

注：病床機能報告に未報告部分がある・病床機能報告の様式1と様式2とが突合しない等の事由から、分析対象に含まれない病床が3,736床ある。

	埼玉県
高度急性期	23床
急性期	1,007床
回復期	138床
慢性期	1,251床
休棟・未報告等	1,317床
計	3,736床

(参考) 未分析病床分 (各医療機関が報告した病床機能)

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果 【南部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率	平均在棟日数	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	8病棟	56人/日	65床	81.6%	3.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	6病棟	216人/日	241床	90.5%	11.5日	
		急性期	39病棟	1,511人/日	1,771床	84.3%	12.4日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	22病棟	593人/日	809床	73.4%	14.4日	
		回復期	7病棟	236人/日	302床	78.2%	60.8日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	2病棟	64人/日	72床	89.2%	52.2日	
	医療療養病床	慢性期	14病棟	510人/日	627床	84.6%	165.2日	
介護療養病床	慢性期	2病棟	91人/日	96床	94.5%	236.5日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	4病棟	32人/日	42床	75.4%	14.3日	
	産科の一般病床	急性期	8病棟	206人/日	241床	93.0%	6.9日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	1病棟	21人/日	28床	75.0%	5.4日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病棟	33人/日	50床	65.7%	5.7日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	1病棟	14人/日	18床	77.2%	20.9日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	17人/日	24床	69.7%	18.3日	
その他	不明	不明/休棟	2病棟	0人/日	8床	0.0%	-	
	休棟・休床中	不明/休棟	4病棟	0人/日	69床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	324人/日	75.0%	86.2%
急性期	1,764人/日	78.0%	84.7%
回復期	829人/日	90.0%	74.9%
慢性期	682人/日	92.0%	85.9%
不明	0人/日	-	0.0%
合計	3,600人/日	-	81.0%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	78.2%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1・一般病棟7:1	86.0%
うち産科・小児科を除く他の一般病棟	57.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	65.9%
うち産科・小児科を除く有床診療所	72.2%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

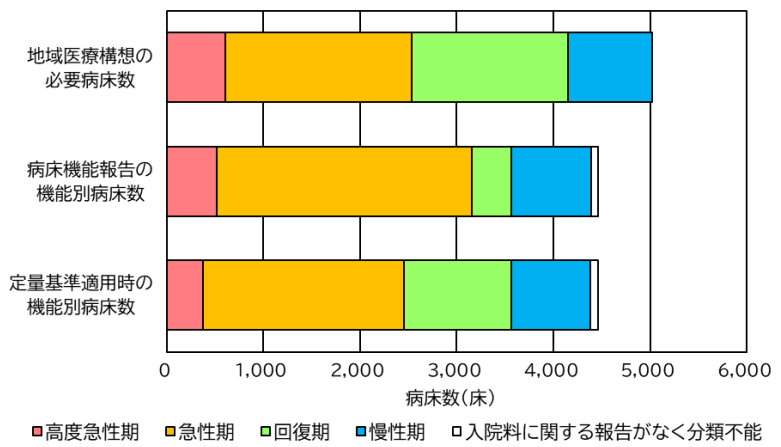
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	19病棟	324人/日	376床	519床	609床	86.2%	8.4日
急性期 計	50病棟	1,764人/日	2,080床	2,639床	1,922床	84.7%	11.1日
回復期 計	29病棟	829人/日	1,111床	402床	1,623床	74.9%	18.8日
慢性期 計	19病棟	682人/日	819床	834床	871床	85.9%	118.6日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	6病棟	0人/日	77床	69床☆	-	0.0%	-
全体	123病棟	3,600人/日	4,463床	4,463床	5,025床	81.0%	14.4日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	8床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	69床
	77床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・2018年同様、高度急性期と急性期の病床稼働率が地域医療構想における想定病床稼働率を大幅に上回っている。特に高度急性期は、(区分線1付近の病棟が高度急性期・急性期のどちらに区分されるかによって値が大きく変わってしまうことに留意は必要であるが) 2018年：82.0%→2019年：86.2%とさらに稼働率が上昇しており、また病床数も2025年における必要病床数の61.7%にとどまっており、一層の病床確保が課題ではないか。
- ・回復期リハビリテーション病棟は、2018年には6病棟262床、病床稼働率96.4%であったのが、2019年には7病棟302床、病床稼働率78.2%となっており、逼迫状況は緩和されたものと考えられる。

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果 【南西部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	10病棟	44人/日	66床	67.1%	4.7日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	6病棟	198人/日	263床	78.8%	12.7日	
		急性期	32病棟	1,120人/日	1,389床	81.1%	13.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	26病棟	753人/日	976床	78.1%	18.4日	
		回復期	8病棟	285人/日	320床	87.4%	72.9日	
		慢性期	11病棟	420人/日	465床	89.2%	131.1日	
	医療療養病床	慢性期	14病棟	587人/日	622床	93.9%	320.2日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	2病棟	6人/日	15床	42.2%	14.7日	
	産科の一般病床	急性期	7病棟	94人/日	162床	63.7%	3.7日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		急性期	3病棟	79人/日	129床	61.1%	7.0日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		慢性期	2病棟	19人/日	40床	83.4%	39.3日	
その他	不明	不明/休棟	2病棟	6人/日	33床	16.9%	127.4日	
	休棟・休床中	不明/休棟	1病棟	0人/日	15床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	249人/日	75.0%	74.7%
急性期	1,293人/日	78.0%	78.3%
回復期	1,038人/日	90.0%	80.5%
慢性期	1,026人/日	92.0%	91.7%
不明	6人/日	—	11.6%
合計	3,612人/日	—	81.2%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	87.4%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	81.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	81.8%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	72.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所	43.9%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

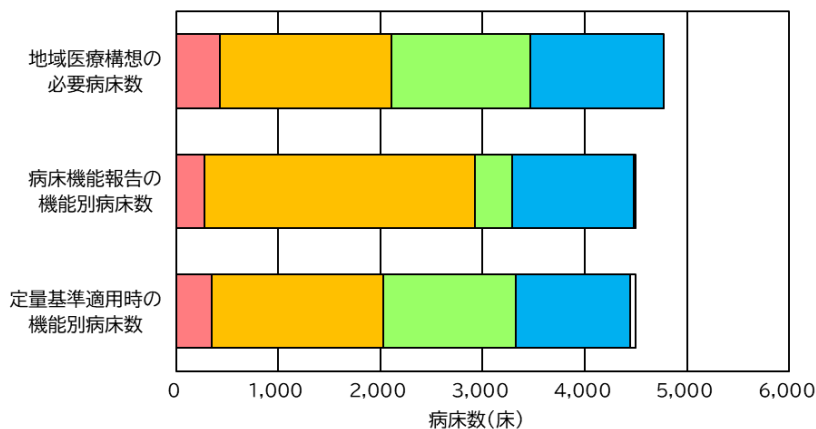
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	18病棟	249人/日	344床	278床	425床	74.7%	9.7日
急性期 計	42病棟	1,293人/日	1,680床	2,651床	1,685床	78.3%	11.0日
回復期 計	34病棟	1,038人/日	1,296床	362床	1,356床	80.5%	23.3日
慢性期 計	27病棟	1,026人/日	1,127床	1,184床	1,311床	91.7%	187.1日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	3病棟	6人/日	48床	20床☆	-	11.6%	127.4日
全体	124病棟	3,612人/日	4,495床	4,495床	4,777床	81.2%	18.2日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	0床
回復期	0床
慢性期	28床
休棟中・無回答	20床
合計	48床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期・急性期・慢性期の病床稼働率はおおむね地域医療構想における想定水準であるが、回復期の病床稼働率が2018年：75.3%→2019年：80.5%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率(90%)よりも低く、特に回復期リハビリテーション病棟以外でそれが顕著である。
- ・周産期・小児を除く高度急性期の平均在棟日数が、「救命救急・ICU等」「一般病棟・地域包括ケア病床等」のどちらについても、県平均や県内の他の医療圏よりもやや長い。
- ・地域医療構想等を踏まえると、基幹的な医療機関の多い東京や川越比企への患者流出が生じやすい地域であると考えられるが、それを無条件に可とするのではなく、高度急性期機能を担う病院の特色を強化することや、急性期・回復期病床へのスムーズな移行の実現が課題なのではないか。

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【東部圏域】

大区分	入院科・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	13病棟	77人/日	123床	55.4%	3.2日	区区分1・区区分2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	11病棟	313人/日	412床	65.7%	8.8日	
		急性期	53病棟	1,777人/日	2,255床	78.5%	11.8日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	42病棟	1,110人/日	1,571床	70.5%	17.6日	
		回復期	16病棟	731人/日	780床	93.8%	74.7日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	16病棟	655人/日	726床	90.7%	113.9日	
	医療療養病床	慢性期	18病棟	772人/日	865床	88.3%	278.6日	
介護療養病床	慢性期	1病棟	42人/日	54床	77.0%	453.0日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	5病棟	13人/日	48床	81.3%	6.4日	
	産科の一般病床	急性期	14病棟	188人/日	298床	75.6%	6.0日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院科の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	4病棟	73人/日	149床	48.7%	4.5日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病棟	40人/日	34床	64.9%	18.1日	
その他	不明	不明/休棟	6病棟	45人/日	97床	48.8%	29.2日	
	休棟・休床中	不明/休棟	11病棟	1人/日	247床	0.2%	4.5日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	402人/日	75.0%	64.5%
急性期	2,038人/日	78.0%	76.6%
回復期	1,841人/日	90.0%	78.1%
慢性期	1,508人/日	92.0%	88.6%
不明	46人/日	—	9.6%
合計	5,836人/日	—	75.9%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	93.8%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	75.8%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	60.9%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	90.3%
うち産科・小児科を除く有床診療所	52.4%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	29病棟	402人/日	583床	205床	831床	64.5%	7.3日
急性期 計	71病棟	2,038人/日	2,702床	4,544床	2,783床	76.6%	10.3日
回復期 計	58病棟	1,841人/日	2,351床	903床	2,734床	78.1%	25.2日
慢性期 計	37病棟	1,508人/日	1,679床	1,760床	2,587床	88.6%	162.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	17病棟	46人/日	344床	247床☆	-	9.6%	26.3日
全体	212病棟	5,836人/日	7,659床	7,659床	8,935床	75.9%	17.2日

※「機能区分不明」とは、入院科の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

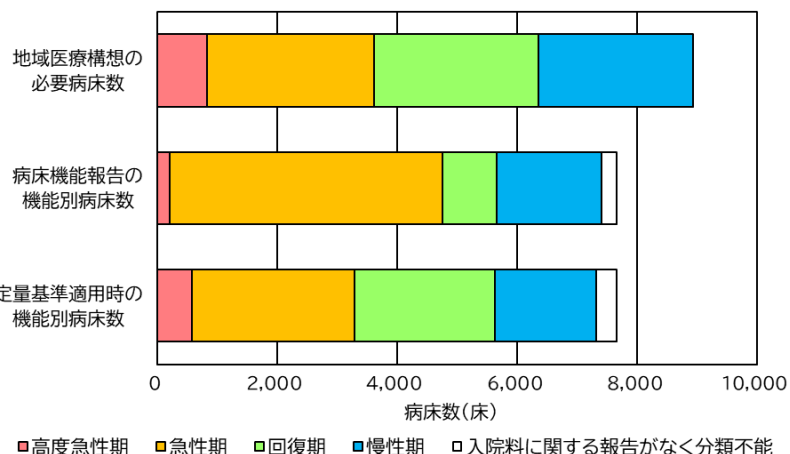
☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

4機能区分	入院科に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	41床
回復期	56床
慢性期	0床
休棟中・無回答	247床
	344床

【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期の病床数について、病床機能報告における（医療機関の自主的な選択に基づく）病床数が著しく少なく、2025年における必要病床数のみならず、定量基準適用時の病床数よりも大幅に少ない状態にある。すなわち、医療機関自らが「高度急性期の病棟」と位置付けていない病棟において、実際には多数の高度急性期相当の患者に対応しているケースが多いのではないかと。
- ・一方、高度急性期の病床稼働率は、2018年：69.6%→2019年：64.5%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率（75%）よりも低い。高度急性期～急性期の患者の受入について、医療機関間の機能分担を明確化し、1医療機関当たりの対応体制の強化を図ることが課題なのではないかと。
- ・慢性期の病床数が、2025年における必要病床数の64.9%にとどまる。今後、慢性期の入院医療需要のさらなる増大が予想される中で、「医療区分1の患者等の在宅移行の推進」「病床稼働率の向上」「病床数の増」が、県平均以上に急務ではないかと。



令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【さいたま圏域】

大区分	入院科・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	20病棟	130人/日	165床	78.5%	3.2日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分 放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	11病棟	374人/日	422床	87.7%	10.3日	
		急性期	74病棟	2,457人/日	2,877床	85.0%	11.7日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	20病棟	523人/日	715床	77.9%	17.1日	
		回復期	9病棟	394人/日	440床	89.5%	64.1日	
		慢性期	6病棟	218人/日	291床	81.1%	189.7日	
	医療療養病床	慢性期	19病棟	868人/日	1,005床	86.2%	171.0日	
介護療養病床	慢性期	2病棟	57人/日	84床	67.6%	116.4日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	8病棟	95人/日	135床	67.9%	13.6日	
	産科の一般病床	急性期	14病棟	198人/日	295床	73.9%	7.5日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	10病棟	234人/日	283床	82.5%	7.0日	
		急性期	4病棟	57人/日	100床	57.4%	6.1日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	1病棟	17人/日	22床	78.4%	21.5日	
		慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	5病棟	67人/日	115床	58.4%	45.3日	
	休棟・休床中	不明/休棟	6病棟	14人/日	151床	9.3%	17.9日	

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	49病棟	833人/日	1,005床	1,582床	1,039床	82.0%	7.0日
急性期 計	93病棟	2,729人/日	3,294床	3,280床	2,770床	83.1%	11.1日
回復期 計	29病棟	917人/日	1,155床	624床	2,301床	82.7%	25.5日
慢性期 計	27病棟	1,143人/日	1,380床	1,463床	1,554床	84.0%	170.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	11病棟	81人/日	266床	151床☆	-	30.5%	35.8日
全体	209病棟	5,703人/日	7,100床	7,100床	7,664床	80.9%	14.0日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

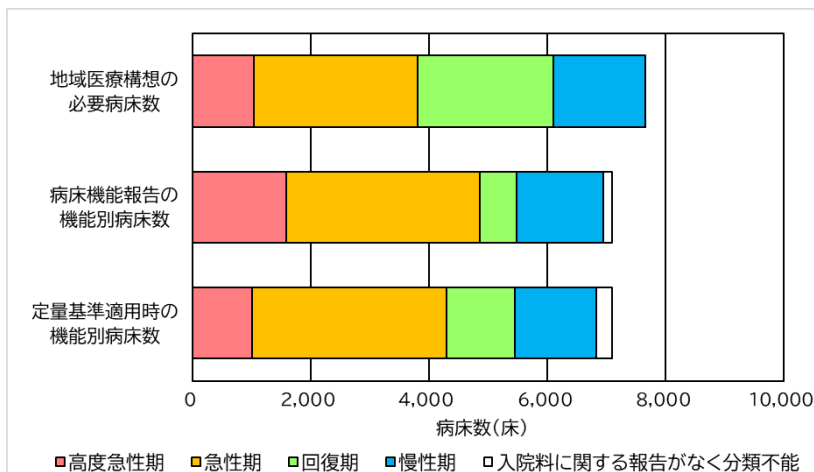
☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	833人/日	75.0%	82.0%
急性期	2,729人/日	78.0%	83.1%
回復期	917人/日	90.0%	82.7%
慢性期	1,143人/日	92.0%	84.0%
不明	81人/日	—	30.5%
合計	5,703人/日	—	80.9%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	89.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	86.6%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	69.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	79.3%
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	56床
回復期	1床
慢性期	58床
休棟中・無回答	151床
合計	266床



【集計分析結果から想定される課題】

- 高度急性期の病床稼働率が2018年：81.1%→2019年：82.0%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率（75%）よりも高く、逼迫しているのではないかと。
- 回復期の病床数が2025年における必要病床数の50.2%にとどまる一方、急性期の病床数は2025年における必要病床数の118.9%にのぼる。
- 現状で逼迫している可能性がある高度急性期と、今後の大幅な需要増が見込まれる回復期について、病床の増（回復期のうち軽症急性期については、病床稼働率の向上も含めた需要増への対応）が喫緊の課題であると考えられる。また、回復期の病床の確保に当たっては、現状で急性期相当となっている病棟間の（より急性期に特化する病棟と主に軽症急性期の患者に対応する病棟との）役割分担が有効となるのではないかと。

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【県央圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病棟	51人/日	80床	64.1%	3.2日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	5病棟	193人/日	209床	92.3%	8.7日	
		急性期	25病棟	851人/日	1,021床	84.3%	13.0日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	17病棟	449人/日	684床	64.8%	15.7日	
		回復期	5病棟	187人/日	215床	87.0%	72.6日	
		慢性期	2病棟	74人/日	91床	81.7%	92.3日	
	医療療養病床	慢性期	16病棟	564人/日	668床	88.5%	244.0日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	6病棟	79人/日	98床	69.2%	7.8日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病棟	13人/日	14床	93.2%	4.6日	
		回復期	1病棟	0人/日	2床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	1病棟	19人/日	21床	90.2%	24.9日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病棟	41人/日	51床	79.8%	22.0日	
その他	不明	不明/休棟	4病棟	45人/日	90床	49.5%	19.0日	
	休棟・休床中	不明/休棟	6病棟	34人/日	175床	19.2%	20.9日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	244人/日	75.0%	84.5%
急性期	962人/日	78.0%	83.7%
回復期	636人/日	90.0%	71.1%
慢性期	679人/日	92.0%	86.7%
不明	78人/日	—	29.5%
合計	2,600人/日	—	76.3%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	87.0%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	81.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	56.3%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	76.8%
うち産科・小児科を除く有床診療所	60.4%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

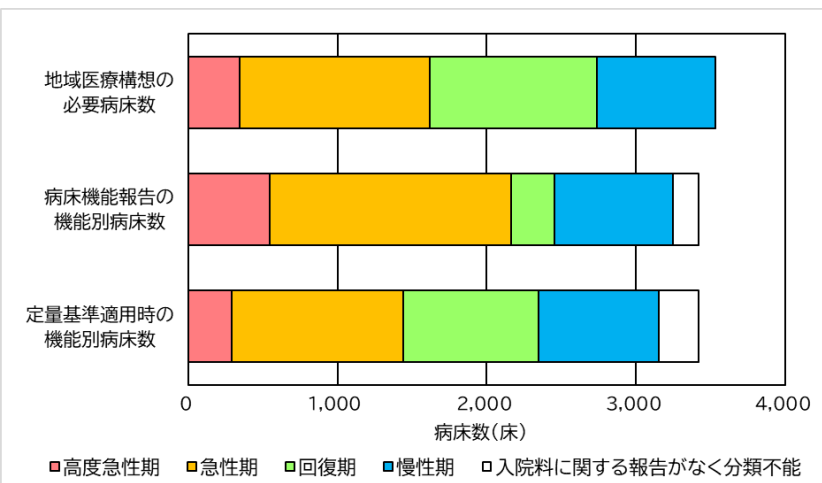
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	12病棟	244人/日	289床	544床	344床	84.5%	6.4日
急性期 計	33病棟	962人/日	1,154床	1,621床	1,273床	83.7%	12.5日
回復期 計	23病棟	636人/日	901床	286床	1,120床	71.1%	21.5日
慢性期 計	20病棟	679人/日	810床	793床	797床	86.7%	119.2日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	10病棟	78人/日	265床	175床☆	-	29.5%	19.8日
全体	98病棟	2,600人/日	3,419床	3,419床	3,534床	76.3%	15.8日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	19床
回復期	71床
慢性期	0床
休棟中・無回答	175床
合計	265床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・2018年同様、高度急性期と急性期の病床稼働率が地域医療構想における想定病床稼働率を大幅に上回っている。特に高度急性期は、(区分線1付近の病棟が高度急性期・急性期のどちらに区分されるかによって値が大きく変わること)に留意は必要であるが) 2018年：81.1%→2019年：84.5%とさらに稼働率が上昇しており、一層の病床確保が課題なのではないか。
- ・高度急性期の病床数が、2025年における必要病床数の84.0%にとどまる。一方で、病床機能報告での報告ベースでは、2025年の必要病床数を大きく上回る。
- ・高度急性期を担う病棟が満たすべき要件を明確化した上で、それをどの病院・病棟が担うかを整理しながら、その増強を図ることが喫緊の課題なのではないか。

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【川越比企圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病棟	75人/日	98床	70.1%	4.6日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	12病棟	374人/日	427床	89.6%	12.9日	
		急性期	42病棟	1,407人/日	1,786床	78.4%	12.2日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	40病棟	1,177人/日	1,591床	73.5%	17.1日	
		回復期	11病棟	500人/日	558床	89.7%	73.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	8病棟	341人/日	376床	89.4%	55.8日	
	医療療養病床	慢性期	30病棟	1,323人/日	1,421床	92.7%	251.9日	
介護療養病床	慢性期	1病棟	55人/日	61床	90.5%	230.3日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	7病棟	129人/日	180床	67.2%	17.9日	
	産科の一般病床	急性期	11病棟	285人/日	317床	99.8%	6.6日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	3病棟	78人/日	104床	74.8%	7.1日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病棟	35人/日	50床	70.4%	31.6日	
その他	不明	不明/休棟	3病棟	0人/日	55床	0.1%	3.1日	
	休棟・休床中	不明/休棟	5病棟	0人/日	116床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	656人/日	75.0%	81.5%
急性期	1,692人/日	78.0%	81.3%
回復期	1,677人/日	90.0%	78.2%
慢性期	1,754人/日	92.0%	91.6%
不明	0人/日	-	0.0%
合計	5,778人/日	-	80.8%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	89.7%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	84.6%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	64.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	75.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所	66.4%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

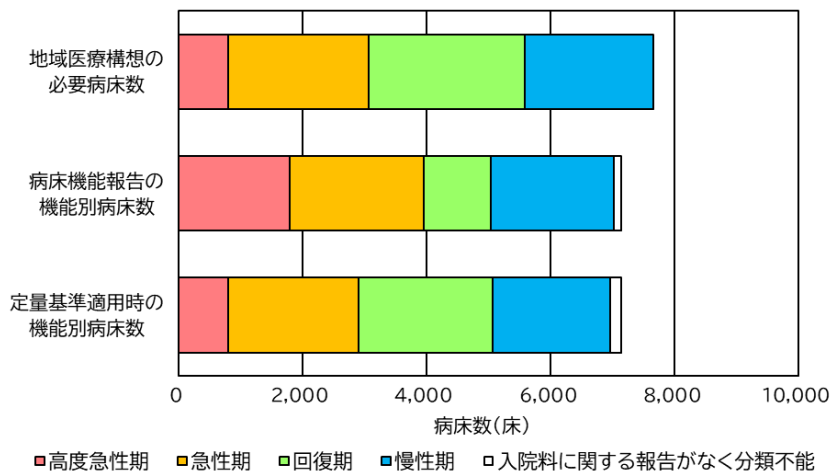
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	29病棟	656人/日	809床	1,790床	802床	81.5%	11.2日
急性期 計	53病棟	1,692人/日	2,103床	2,161床	2,260床	81.3%	10.6日
回復期 計	51病棟	1,677人/日	2,149床	1,090床	2,518床	78.2%	23.0日
慢性期 計	41病棟	1,754人/日	1,908床	1,983床	2,072床	91.6%	169.4日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	8病棟	0人/日	171床	116床☆	-	0.0%	3.1日
全体	182病棟	5,778人/日	7,140床	7,140床	7,652床	80.8%	18.6日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	21床
回復期	34床
慢性期	0床
休棟中・無回答	116床
	171床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出し・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新担当患者数」と「退院患者数」とが一致を前提に「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満、「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 定量基準適用時の機能別の病床数と、2025年における必要病床数との乖離は比較的小さい。
- ・ 県全体の傾向と同様、回復期の病床稼働率が2018年：69.5%→2019年：78.2%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率(90%)よりも低い。回復期リハビリテーション病棟の稼働率は89.7%であることから、このような稼働率の低さは、回復期リハビリテーション病棟以外の回復期の病床によるものではないか。
- ・ 回復期のうち、軽症急性期を担う病床について、病床稼働率の向上を通じた需要増への対応が必要となるのではないか。
- ・ 病床機能報告での報告ベースでの高度急性期の病床数が多いため、高度急性期を担う病棟が満たすべき要件を明確化した上で、それをどの病院・病棟が担うかを整理することが必要ではないか。

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【西部】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	16病棟	132人/日	166床	81.1%	4.4日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	8病棟	234人/日	296床	87.5%	8.4日	
		急性期	43病棟	1,359人/日	1,752床	78.8%	11.8日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	36病棟	1,071人/日	1,505床	74.4%	18.1日	
		回復期	12病棟	488人/日	545床	86.9%	62.5日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	9病棟	379人/日	460床	83.2%	306.5日	
	医療療養病床	慢性期	34病棟	1,526人/日	1,710床	91.3%	220.1日	
介護療養病床	慢性期	3病棟	166人/日	176床	95.5%	425.5日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	1病棟	3人/日	3床	91.0%	7.4日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	産科の一般病床	急性期	10病棟	149人/日	227床	67.3%	6.6日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		急性期	1病棟	13人/日	26床	50.6%	8.5日	
		回復期	1病棟	16人/日	28床	57.9%	7.8日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		慢性期	1病棟	16人/日	20床	80.6%	23.0日	
その他	不明	不明/休棟	6病棟	52人/日	122床	47.7%	78.7日	
	休棟・休床中	不明/休棟	6病棟	0人/日	90床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	369人/日	75.0%	85.1%
急性期	1,521人/日	78.0%	77.3%
回復期	1,575人/日	90.0%	77.5%
慢性期	2,088人/日	92.0%	89.9%
不明	52人/日	—	26.3%
合計	5,604人/日	—	80.5%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	86.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	91.9%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	72.9%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	62.4%
うち産科・小児科を除く有床診療所	71.7%
うち小児科の一般病棟・有床診	57.9%

4機能ごとに集計

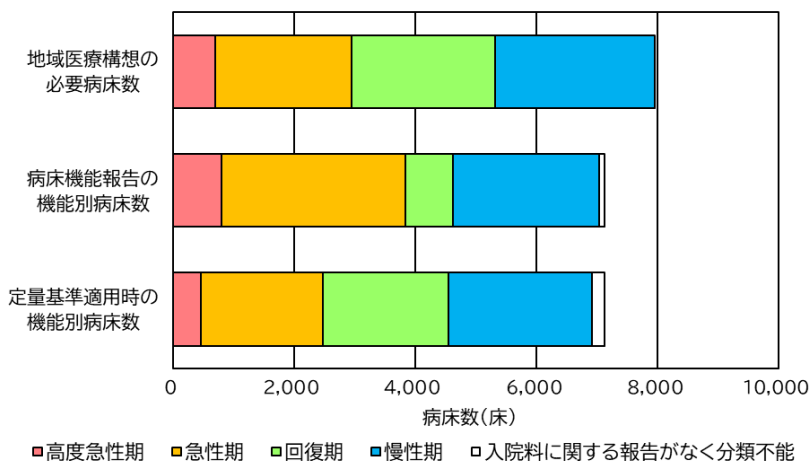
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	25病棟	369人/日	465床	799床	694床	85.1%	6.3日
急性期 計	54病棟	1,521人/日	2,005床	3,043床	2,249床	77.3%	11.1日
回復期 計	49病棟	1,575人/日	2,078床	787床	2,370床	77.5%	22.5日
慢性期 計	47病棟	2,088人/日	2,366床	2,407床	2,638床	89.9%	221.2日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	12病棟	52人/日	212床	90床☆		26.3%	78.7日
全体	187病棟	5,604人/日	7,126床	7,126床	7,951床	80.5%	20.3日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	76床
回復期	0床
慢性期	46床
休棟中・無回答	90床
	212床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期の病床稼働率が（区分線1付近の病棟が高度急性期・急性期のどちらに区分されるかによって値が大きく変わりうることに留意は必要であるが）2018年：77.2%→2019年：85.1%であり、地域医療構想における想定入院率（75%）との乖離が大きくなっており、病床が逼迫しているのではないかと。
- ・一方、県平均と比べても高度急性期の平均在棟日数はやや短いことから、急性期や回復期へのスムーズな移行による逼迫状況の改善は、困難であるのではないかと。
- ・高度急性期の病床数が、2025年における必要病床数の67.0%にとどまる。一方で、病床機能報告での報告ベースでは、2025年の必要病床数を大きく上回る。
- ・高度急性期を担う病棟が満たすべき要件を明確化した上で、それをどの病院・病棟が担うかを整理しながら、その増強を図ることが課題であるのではないかと。

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【利根】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	8病棟	51人/日	60床	85.5%	4.1日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	4病棟	160人/日	168床	92.2%	9.0日	
		急性期	31病棟	1,252人/日	1,596床	77.7%	12.1日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	33病棟	738人/日	1,046床	72.0%	16.9日	
		回復期	7病棟	303人/日	337床	90.0%	61.3日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	8病棟	352人/日	403床	84.5%	66.6日	
	医療療養病床	慢性期	13病棟	512人/日	598床	88.6%	159.8日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	6病棟	99人/日	154床	64.8%	5.7日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病棟	8人/日	40床	-	-	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	7人/日	14床	49.5%	25.0日	
その他	不明	不明/休棟	3病棟	21人/日	43床	50.5%	3.1日	
	休棟・休床中	不明/休棟	3病棟	0人/日	62床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	211人/日	75.0%	90.2%
急性期	1,359人/日	78.0%	76.7%
回復期	1,041人/日	90.0%	76.8%
慢性期	871人/日	92.0%	86.5%
不明	21人/日	—	19.2%
合計	3,503人/日	—	78.0%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	90.0%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	94.0%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	72.8%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	75.6%
うち産科・小児科を除く有床診療所	41.5%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

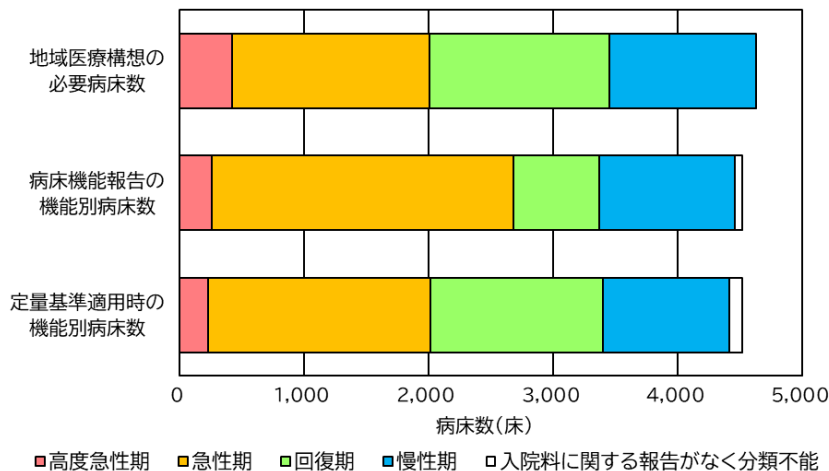
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	12病棟	211人/日	228床	261床	426床	90.2%	6.8日
急性期 計	38病棟	1,359人/日	1,790床	2,424床	1,580床	76.7%	11.3日
回復期 計	40病棟	1,041人/日	1,383床	685床	1,448床	76.8%	21.9日
慢性期 計	22病棟	871人/日	1,015床	1,089床	1,176床	86.5%	104.8日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	6病棟	21人/日	105床	62床☆	-	19.2%	3.1日
全体	118病棟	3,503人/日	4,521床	4,521床	4,630床	78.0%	15.9日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	43床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	62床
	105床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数が大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期の病床が2025年における必要病床数の53.5%にとどまる。また、高度急性期の病床稼働率が、想定病床稼働率(75%)を大幅に上回っており、2018年：81.9%→2019年：90.2%とさらに稼働率が上昇している。高度急性期の一層の病床確保が課題ではないか。
- ・急性期の病床は、2025年における必要病床数の113.3%にのぼることから、急性期の病床の一部について、より重症度の高い患者への対応が可能となるよう機能強化し、高度急性期の病床の増強を図ることが必要ではないか。
- ・隣接する東部医療圏について、慢性期の病床の顕著な不足が見込まれることから、慢性期の入院患者の流入が、今後増える可能性も見込まれる。

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【北部】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	6病棟	45人/日	91床	49.8%	3.3日	区分離1・区分離2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	4病棟	141人/日	178床	78.8%	9.9日	
		急性期	26病棟	796人/日	1,005床	79.1%	12.1日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	25病棟	608人/日	948床	66.9%	17.1日	
		回復期	3病棟	145人/日	155床	93.3%	57.3日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	3病棟	107人/日	129床	-	-	
	医療療養病床	慢性期	20病棟	838人/日	956床	88.6%	177.1日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	9病棟	148人/日	324床	48.7%	7.4日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		回復期	1病棟	13人/日	42床	31.8%	5.6日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	9人/日	24床	37.8%	18.7日	
その他	不明	不明/休棟	1病棟	0人/日	0床	-	-	
	休棟・休床中	不明/休棟	2病棟	0人/日	38床	0.0%	-	

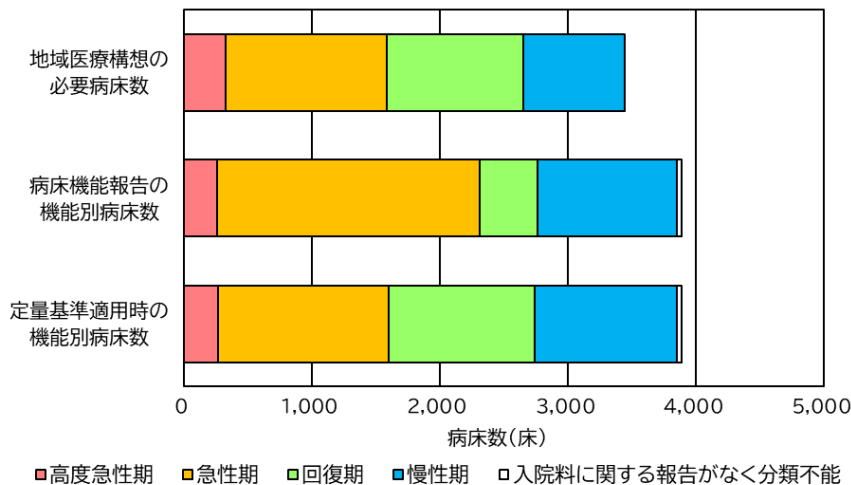
4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	10病棟	186人/日	269床	260床	327床	66.8%	6.1日
急性期 計	35病棟	944人/日	1,329床	2,048床	1,258床	74.0%	11.3日
回復期 計	29病棟	766人/日	1,145床	455床	1,066床	69.3%	19.0日
慢性期 計	24病棟	954人/日	1,109床	1,089床	791床	87.2%	161.8日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	3病棟	0人/日	38床	38床☆	-	0.0%	-
全体	101病棟	2,851人/日	3,890床	3,890床	3,442床	75.2%	17.7日

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- 回復期の病床稼働率が2018年：70.6%→2019年：69.3%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率（90%）よりも低い。
- 全病床に占める回復期リハビリテーション病棟の病床の割合が4.0%であり、県平均（7.3%）のみならず、10医療圏の中で最も低い。回復期リハビリテーション病棟の病床稼働率は、2018年：97.2%→2019年：93.3%ときわめて高く、病床が逼迫しているのではないかと。
- 回復期の病床について、今後は、回復期リハビリテーション病棟を拡充する必要性が高いのではないかと。

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	186人/日	75.0%	66.8%
急性期	944人/日	78.0%	74.0%
回復期	766人/日	90.0%	69.3%
慢性期	954人/日	92.0%	87.2%
不明	0人/日	—	0.0%
合計	2,851人/日	—	75.2%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	93.3%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	79.6%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	62.4%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	66.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所	72.0%
うち小児科の一般病棟・有床診	31.8%

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	0床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	38床
全体	38床

令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【秩父】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		急性期	6病棟	210人/日	264床	81.6%	14.5日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	5病棟	100人/日	164床	58.4%	37.6日	
		慢性期	1病棟	35人/日	40床	88.6%	80.8日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	1病棟	53人/日	60床	88.1%	50.1日	
	医療療養病床	慢性期	5病棟	156人/日	212床	70.0%	154.8日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	産科の一般病床	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	1病棟	0人/日	29床	0.0%	-	
	休棟・休床中	不明/休棟	1病棟	0人/日	30床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	0人/日	75.0%	-
急性期	210人/日	78.0%	81.6%
回復期	135人/日	90.0%	65.7%
慢性期	209人/日	92.0%	74.7%
不明	0人/日	-	0.0%
合計	554人/日	-	68.9%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	88.6%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	-
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	94.5%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	41.6%
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

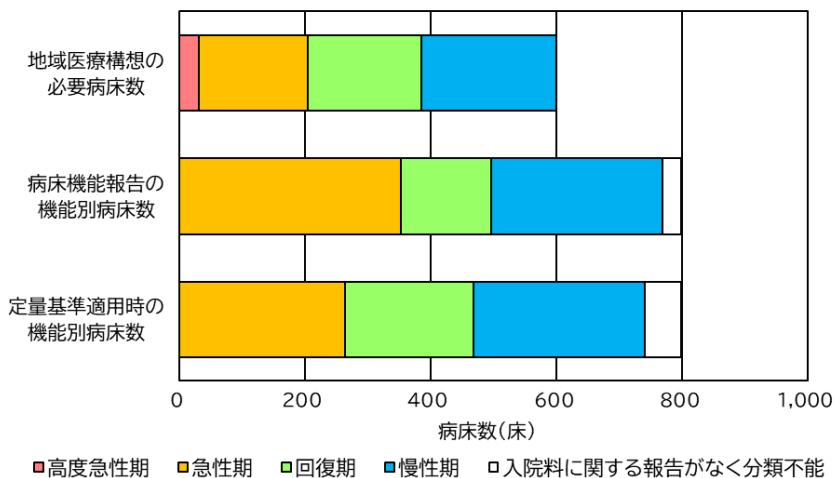
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	0病棟	0人/日	0床	0床	31床	-	-
急性期 計	6病棟	210人/日	264床	352床	174床	81.6%	14.5日
回復期 計	6病棟	135人/日	204床	145床	181床	65.7%	45.5日
慢性期 計	6病棟	209人/日	272床	272床	214床	74.7%	94.6日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	2病棟	0人/日	59床	30床☆	-	0.0%	-
全体	20病棟	554人/日	799床	799床	600床	68.9%	26.3日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	29床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	30床
	59床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期が域内になく、病棟間の機能分화가、他地域に比べて不明瞭である可能性がある。
- ・人口規模が小さいこと、2025年における必要病床数が現在の病床数を大きく下回ることを考慮すると、「域内での完結性を向上させるべき機能」「他地域との連携によって提供を図る機能」「県内他地域で不足が顕著となる中で、積極的に域内への受入れを図る機能」の整理が必要ではないか。

各圏域の定量基準による機能別病床稼働率（令和元年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	79.9%	79.8%	76.8%	88.2%	17.6%	79.0%
南部	86.2%	84.7%	74.9%	85.9%	0.0%	81.0%
南西部	74.7%	78.3%	80.5%	91.7%	11.6%	81.2%
東部	64.5%	76.6%	78.1%	88.6%	9.6%	75.9%
さいたま	82.0%	83.1%	82.7%	84.0%	30.5%	80.9%
県央	84.5%	83.7%	71.1%	86.7%	29.5%	76.3%
川越比企	81.5%	81.3%	78.2%	91.6%	0.0%	80.8%
西部	85.1%	77.3%	77.5%	89.9%	26.3%	80.5%
利根	90.2%	76.7%	76.8%	86.5%	19.2%	78.0%
北部	66.8%	74.0%	69.3%	87.2%	0.0%	75.2%
秩父	-	81.6%	65.7%	74.7%	0.0%	68.9%

各圏域の定量基準による機能別平均在棟日数（令和元年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	7.6日	11.0日	22.6日	159.3日	18.6日	16.9日
南部	8.4日	11.1日	18.8日	118.6日	-	14.4日
南西部	9.7日	11.0日	23.3日	187.1日	127.4日	18.2日
東部	7.3日	10.3日	25.2日	162.0日	26.3日	17.2日
さいたま	7.0日	11.1日	25.5日	170.0日	35.8日	14.0日
県央	6.4日	12.5日	21.5日	119.2日	19.8日	15.8日
川越比企	11.2日	10.6日	23.0日	169.4日	3.1日	18.6日
西部	6.3日	11.1日	22.5日	221.2日	78.7日	20.3日
利根	6.8日	11.3日	21.9日	104.8日	3.1日	15.9日
北部	6.1日	11.3日	19.0日	161.8日	-	17.7日
秩父	-	14.5日	45.5日	94.6日	-	26.3日